

ELIXIR MOBILE PRODUCTS

ELIXIR
MOBILE GATEWAY
EXTREME

ソフトウェア版
ユーザーズ・マニュアル

<コンテンツ作成編>

Revision: 1.16

ノイアンドコンピューティング株式会社

変更履歴

Changes from 1.15 to 1.16	2012-03-29
*) [9-2 CSS パースエラー時の対応]の記述を変更	
Changes from 1.14 to 1.15	2012-03-12
*) [4. 出力切替]に注意点を追記	
Changes from 1.13 to 1.14	2011-11-15
*) [7-5 PC (その他の端末)]の文言を修正	
Changes from 1.11 to 1.13	2011-11-11
*) [4. 出力切替]の文言を変更	
Changes from 1.10 to 1.11	2011-09-05
*) [4-3 条件式の例]の誤記を削除	
Changes from 1.07 to 1.10	2011-07-14
*) [9-1 POST データの文字コード]に追記	
*) [9-2 CSS パースエラー時の対応]を追記	
*) [1-5 画像]のプロGRESSIVE JPEG の注意事項を削除	
Changes from 1.06 to 1.07	2011-06-03
*) [1 変換対象コンテンツの仕様]に注意事項を追記	
*) [1-4 画像]に注意事項を追記	
Changes from 1.03 to 1.06	2011-02-21
*) [2-9 パラメータを付加しない指定]の追記	
Changes from 1.02 to 1.03	2010-12-08
*) 参照サイト URL の変更	
Changes from 1.00 to 1.02	2010-04-27
*) 初期リリース版	

目次

1	変換対象コンテンツの仕様	5
1.1	マークアップ言語	5
1.2	文字コード	5
1.3	絵文字	5
1.4	画像	5
2	画像変換パラメータ	6
2.1	出力自動調整方法	6
2.2	パラメータ指定内容	6
2.3	画像の横幅指定	7
2.4	画像のファイルサイズ指定	8
2.5	待ち受け画像指定	8
2.6	待ち受け画像の余白背景色指定	9
2.7	画像の無変換指定	9
2.8	パラメータの名前指定	9
2.9	パラメータを付加しない指定	10
3	画像コピー転送防止	11
3.1	転送防止の指定方法	11
4	出力切替	12
4.1	出力切替の記述方法	12
4.2	条件式の規則	12
4.3	条件式の例	14
5	端末スペック通知	15
5.1	通知する項目	15
5.2	スペックの名称変更	15
6	キャッシュ制御	16
6.1	キャッシュ機構	16
6.2	キャッシュを行いたい場合	16
6.3	キャッシュをさせない場合	16
6.4	キャッシュ時間を指定する場合	16
6.4.1	変換後コンテンツ(メモリキャッシュ)のキャッシュ時間指定	17
6.4.2	変換元コンテンツ(ディスクキャッシュ)のキャッシュ時間指定	17
7	未対応端末の動作	19
7.1	対応している端末	19
7.2	対応していない端末	19
7.3	未知の端末(登録されていない端末)	19

7.4	携帯電話向け検索エンジンのクローラ	19
7.5	PC (その他の端末)	19
8	PC ブラウザでの動作確認方法	21
8.1	確認ツール	21
8.2	変換後コンテンツの確認	21
9	その他コンテンツの作成時の注意事項	23
9.1	POST データの文字コード	23
9.2	CSS パースエラー時の対応	24
付録 A.	独自の用語	25
付録 B.	参考資料	26

1 変換対象コンテンツの仕様

エリクサー・エクストリーム（以下「エリクサー」とします）は携帯向けに作成された Web コンテンツを、様々な端末に合わせて変換します。

また、主な変換対象コンテンツとして画像コンテンツと XHTML/HTML コンテンツ（以下「HTML コンテンツ」とします）があります。広い意味で CSS も HTML コンテンツに含まれます。

* 端末の不具合により正常に表示されないケースがございます。

* {付録 B. 参考資料} に各種資料や出典を記載しています。

こちらに合わせてご覧下さい。

1.1 マークアップ言語

携帯用コンテンツ

i モード対応 XHTML2.3、i モード対応 HTML（いわゆる CHTML）。

これらが非整形形式のコンテンツであっても、HTML Tidy が整形形式に変換します。

参考：HTML Tidy の処理例

<http://tidy.sourceforge.net/docs/Overview.html>

言語の将来性を考慮し、コンテンツ新規作成時には XHTML をお勧めします。

1.2 文字コード

UTF-8、Shift_JIS

1.3 絵文字

docomo の絵文字に対応します。

- ・Unicode のテキスト入力
- ・Shift_JIS のテキスト入力
- ・Shift_JIS のバイナリコード入力

詳細は NTT ドコモの「作ろう i モードコンテンツ」を参照して下さい。

1.4 画像

GIF（アニメーション GIF を含む）、JPEG、PNG

2 画像変換パラメータ

エリクサーは、内部に持つ端末仕様のデータベース（以下「端末プロファイル」とします）と HTML コンテンツ内の画像ファイルを元に各端末に合った画像を出力します。また、HTTP URL クエリのパラメータ（以下「URI パラメータ」または単に「パラメータ」とします）も指定できます。

2.1 出力自動調整方法

以下の情報を元に自動調整を行います。

- ・ 端末でサポートされている画像形式
- ・ 端末でサポートされている画像形式が元画像形式と異なる場合は、端末でサポートされている画像形式に変換。
- ・ 元画像形式が端末でサポートされている画像形式の場合は画像形式変換はしません。

== 端末でサポートされている場合は ==

- ・ 端末ブラウザの横幅（端末デバイスの横幅ではありません）
- ・ 端末のキャッシュサイズ
- ・ 画像の横幅
- ・ 画像の色深度
- ・ 画像（img タグ）が table タグ内であれば、テーブル系タグ（table, tr, th, td）の width

結果以下の調整を行います。

- ・ 画像の縦横幅（アスペクト比固定）
- ・ 画質（色深度。JPEG の場合は圧縮率も）

2.2 パラメータ指定内容

自動調整に加え、URI にパラメータを指定して調整内容を変更することができます。

- ・ 画像の横幅（パーセント、ピクセル指定）
- ・ 画像のファイルサイズ（変換サイズ上限指定）
- ・

- ・ 画像を待ち受け画像（壁紙）に指定



図 2-1. 待ち受け画像指定 デフォルト (OFF) と 1 (ON) の違い

- ・ 待ち受け画像の余白背景色



図 2-2. 待ち受け画像の余白背景色 デフォルト (黒) と 0000ff (青) の様子

- ・ 画像の無変換指定

2.3 画像の横幅指定

横幅 (width) を指定します。

URI パラメータ名

elx_w

(1) ピクセル指定

横幅をピクセル数で指定します。

記述例 (180px)

```
<img src ="image.jpg?elx_w=180">
```

* elx は "ELiXir" に由来します。

(2) パーセント指定

画像の横幅を各端末ブラウザの横幅に対してパーセンテージで指定します。

記述例 (80%)

```

```

* "P" の指定が必要になります

* アスペクト (縦横) 比は固定のため、縦幅 (height) の指定は必要ありません。

2.4 画像のファイルサイズ指定

変換ファイルサイズの上限を指定したい場合等に使用します。サイズをバイト数で指定して下さい。端末プロファイルのキャッシュサイズを超えない範囲で調整して出力します。

URI パラメータ名

elx_s

記述例 (2000 バイト)

```
<img src ="image.jpg?elx_s=2000">
```

2.5 待ち受け画像指定

画像を待ち受け画像 (壁紙:Wall Paper) として指定します。

elx_w/elx_s が指定されていた場合でも、端末プロファイルの待ち受け画像の縦横幅が適用されます。

URI パラメータ名

elx_wp (0:OFF, 1:ON)

記述例

```

```

2.6 待ち受け画像の余白背景色指定

画像を待ち受け画像にした時に余白ができる場合があります。その余白部分の色を指定することができます。

URI パラメータ名

`elx_wp_bg` (RGB 値 16 進数表記。デフォルト黒:0000ff)

記述例 (青 "0000ff")

```

```

* `elx_wp=1` の指定がない場合は無効になります。

シャープ # は指定しないで下さい。

red 等の色名表記も指定できません。

& は & の文字実体参照です。(URI パラメータのデリミタ)

2.7 画像の無変換指定

あえて変換オリジナルの元コンテンツ を出力させたい場合に使用します。

`elx_w/elx_s` が指定されていた場合でも、画像の縦横幅やファイルサイズの変換は行われません。

URI パラメータ名

`elx_nc` (0:OFF, 1:ON)

記述例

```

```

2.8 パラメータの名前指定

URI パラメータ名にはデフォルトで "elx_" 接頭辞が付きますが、バーチャルホスト毎の Nginx 設定 (以下「バーチャルホスト設定」とします) で名前を変更することができます。

画像の横幅指定

`elx_image_filter_width_param_name`

画像のファイルサイズ指定

`elx_image_filter_size_param_name`

待ち受け画像指定

`elx_image_filter_wp_param_name`

待ち受け画像の余白背景色指定

`elx_image_filter_wp_bg_color_param_name`

画像の無変換指定

`elx_image_filter_noconv_param_name`

* 設定方法は{ユーザーズ・マニュアル 設定&運用編}を参照して下さい

2.9 パラメータを付加しない指定

画像にパラメータを付けたくない場合は下記のように指定します。

属性名

`elx_asis` (0:OFF, 1:ON)

記述例

``

3 画像コピー転送防止

エリクサーは、著作権保護に関する機能として、コンテンツ利用者がサイトからダウンロードした画像に対して、メール添付等の利用による画像の端末外への取り出しを禁止することができます。コンテンツ利用者がダウンロードした画像を自由に配布しないように制限したい場合等にご利用下さい。

端末の種類	メール添付	データ転送
docomo	○	○
SoftBank	○	○
au	○	○
Smartphone	×	×
PC	×	×

表 3.1 各端末の種類に対するコピー転送防止機能対応表

* 端末自体の制限により上記制限が有効とならない場合もあります。

3.1 転送防止の指定方法

バーチャルホスト設定に転送防止する URL のパス（ディレクトリ）を指定します。

設定例（複数のパスを指定）

```
elx_image_filter_copyright_path /nocopy_dir1 /nocopy_dir2;
```

* 設定の詳細は {ユーザーズ・マニュアル 設定&運用編} を参照して下さい。

* "/" を指定すると、全てのパスに対して転送防止が実施されます。

4 出力切替

出力切替とは、端末の種類や機能仕様毎に変換出力するコンテンツの出力を切り分ける場合等、記述された条件式によりコンテンツの出力を切り替えることができる機能です。

PC の場合、コンテンツを無変換で返します。PC に対して出力切替機能はご利用いただけませんのでご注意ください。

4.1 出力切替の記述方法

出力を切り分けたいコンテンツの外側に div タグを作成し、if 属性と output 属性を記述します。if には条件式を、output には条件式にマッチした場合のコンテンツの動作 (yes:出力する、no:出力しない) を指定します。

```
<div if="条件式" output="yes">
  条件式にマッチした場合に表示したい内容
</div>
<div if="条件式" output="no">
  条件式にマッチした場合に表示したくない内容
</div>
```

- * 出力切替に使用された div タグ自体は削除して出力します。
- * if と output はエリクサー独自の属性です。

4.2 条件式の規則

出力切替機能の条件式は W3C XPath 1.0 の 3 章 “Expressions” 以降の記述規則と同じです。以下、<http://www.w3.org/TR/xpath/#section-Expressions> から要約した EBNF による表現です。

```
boolean-expression ::= Expr | PrimaryExpr
Expr                ::= OrExpr
PrimaryExpr         ::= VariableReference
                    | '(' Expr ')'
                    | Literal
                    | Number
                    | FunctionCall
```

```

OrExpr      ::= AndExpr
              | OrExpr 'or' AndExpr
AndExpr     ::= EqualityExpr
              | AndExpr 'and' EqualityExpr
EqualityExpr ::= RelationalExpr
              | EqualityExpr '=' RelationalExpr
              | EqualityExpr '!=' RelationalExpr
RelationalExpr ::= AdditiveExpr
              | RelationalExpr '<' AdditiveExpr
              | RelationalExpr '>' AdditiveExpr
              | RelationalExpr '<=' AdditiveExpr
              | RelationalExpr '>=' AdditiveExpr
AdditiveExpr ::= MultiplicativeExpr
              | AdditiveExpr '+' MultiplicativeExpr
              | AdditiveExpr '-' MultiplicativeExpr
MultiplicativeExpr ::= UnaryExpr
                  | MultiplicativeExpr MultiplyOperator
UnaryExpr
                  | MultiplicativeExpr 'div' UnaryExpr
                  | MultiplicativeExpr 'mod' UnaryExpr
UnaryExpr     ::= UnionExpr
              | '-' UnaryExpr
Literal      ::= ''' [^']* '''
              | """ [^']* """
Number       ::= Digits ('.' Digits)?
              | '.' Digits
Digits       ::= [0-9]+
Operator     ::= OperatorName
              | MultiplyOperator
              | '+' | '-' | '=' | '!=' | '<' | '<=' | '>'
              | '>='
OperatorName ::= 'and' | 'or' | 'mod' | 'div'
MultiplyOperator ::= '*'
FunctionCall  ::= Name '(' ( Argument ( ',' Argument ) * )? ')'
Argument     ::= Expr
VariableReference ::= '$' Name

```

```
NameStartChar ::= [A-Z] | "_" | [a-z]
NameChar       ::= NameStartChar | "-" | "." | [0-9]
Name           ::= NameStartChar (NameChar)*
```

4.3 条件式の例

端末の種類（キャリア）が docomo の場合に出力する

```
<div if="$elx_carrier='docomo'" output="yes">
```

端末の種類がスマートフォンの場合に出力しない

```
<div if="$elx_carrier='smartphone'" output="no">
```

端末の種類が Softbank または、au の場合に出力する

```
<div if="$elx_carrier='softbank' or $elx_carrier='au'"
output="yes">
```

端末の種類が docomo で Flash Lite に対応している場合に出力する

```
<div if="$elx_carrier='docomo' and
$elx_device_sw_flash_lite_enable='1'" output="yes">
```

端末の種類が docomo または au で Flash Lite に対応している場合に出力する

```
<div if="($elx_carrier='docomo' or $elx_carrier='au') and
$elx_device_sw_flash_lite_enable='1'" output="yes">
```

ブラウザの表示幅が 240px 以上の端末の場合に出力する

```
<div if="$elx_device_image_browser_width >= '240'" output =
"yes">
```

* > と < は比較演算子 > と < の文字実体参照です

使用できる変数

条件式では、リクエストされた端末のスペック（仕様）情報を変数として使用することができます。具体的な項目は、“{付録 B. 参考資料} 端末スペック通知項目一覧”を参照して下さい。

5 端末スペック通知

変換対象コンテンツ（以下「変換元コンテンツ」とします）を持つオリジンサーバ(以下「バックエンド」とします)に変換元コンテンツを取得する際に、アクセスした端末のスペック（仕様）データを、HTTP リクエストヘッダに付加してリクエストを行います。バックエンドの Web サーバ側で受け取ったスペックデータに応じてアプリケーション側で送出手続きをコントロールすることが可能です。

5.1 通知する項目

バーチャルホスト設定ファイル内に指定された項目を通知します。具体的な指定の方法及び、指定可能な項目については “{ユーザーズ・マニュアル 設定&運用編}” を参照して下さい。

5.2 スペックの名称変更

バーチャルホスト設定ファイル内に指定することにより、通知する項目の名称を変更することが可能です。具体的な指定の方法については {ユーザーズ・マニュアル 設定&運用編} を参照して下さい。

6 キャッシュ制御

6.1 キャッシュ機構

変換元コンテンツのディスクキャッシュと、端末ごとに変換されたコンテンツのメモリキャッシュの、2つのキャッシュ構造を持ちます。

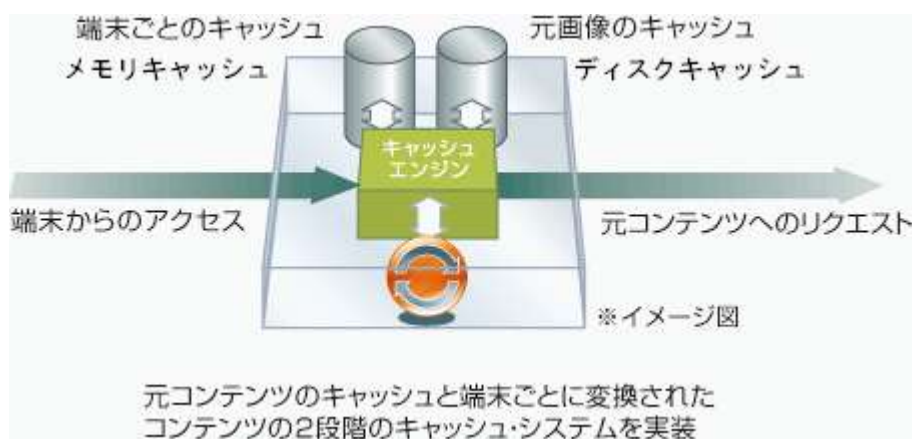


図 7-1. キャッシュ機構

= 注意 =

キャッシュ機構を正常に動作させるためには、エリクサーが動作しているマシンの時刻を ntp 等を用いてバックエンドと共に正確にする必要があります。

6.2 キャッシュを行いたい場合

デフォルト設定では、キャッシュ（変換元コンテンツのキャッシュ、変換後コンテンツのキャッシュ）を行いますので特に設定を行う必要はありません。

6.3 キャッシュをさせない場合

HTTP レスポンスヘッダの "Cache-Control" に "no-cache" を指定して下さい。"no-cache" が指定されている場合キャッシュは保存されません。よって、毎回元コンテンツを取得し、毎回変換処理を行ないます。

= 注意 =

CGI 等の動的コンテンツの場合は、必ず "Cache-Control: no-cache" の HTTP ヘッダを付加して下さい。

6.4 キャッシュ時間を指定する場合

以下に説明する方法でキャッシュ時間を指定することができます。但し、HTTP

ヘッダに“Cache-Control: no-cache”が指定されていた場合はこちらを優先するため、キャッシュされません。

6.4.1 変換後コンテンツ(メモリキャッシュ)のキャッシュ時間指定

キャッシュ時間の指定方法を優先順位の高い順に説明します。

- (1) “Expires” ヘッダを指定する
“Expires” で指定された期限までキャッシュを保持します。
- (2) “Cache-Control” ヘッダに “max-age” を指定する。
“max-age” で指定された時間内、キャッシュを保持します。
- (3) バーチャルホスト設定ファイルで指定する。
指定されたキャッシュ残存時間までキャッシュを保持します。デフォルトは 3600 秒(1 時間) です。指定項目は以下の通りです。

```
elx_memcached_valid_sec 3600;
```

補足：既にキャッシュ時間が指定されている場合でも、より優先順位の高い方法でキャッシュ時間が指定された場合、優先順位の高い方法のキャッシュ時間で上書きされます。

例えば、(3)バーチャルホスト設定ファイルで 3600 秒のキャッシュ時間を指定していた場合でも、(2)の“max-age”で 30 秒と指定された場合。キャッシュ時間は 30 秒となります。

6.4.2 変換元コンテンツ(ディスクキャッシュ)のキャッシュ時間指定

以下にキャッシュ時間の指定方法を説明します。

- (1) “Expires” ヘッダを指定する
“Expires” で指定された期限までキャッシュを保持します。
- (2) “Cache-Control” ヘッダに “max-age” を指定する。
“max-age” で指定された時間内、キャッシュを保持します。
- (3) バーチャルホスト設定ファイルで指定する。
指定されたキャッシュ残存時間までキャッシュを保持します。デフォルトは 3600

秒(1時間)です。指定項目は以下の通りです。

```
proxy_cache_valid 200 3600;
```

“200”はバックエンドからのHTTPレスポンスのステータスコードの指定です。この例では、“200”で帰ってきた場合、3600秒(1時間)キャッシュを行います。

(4)“nginx.conf”ファイルで指定する。

最後にディスクキャッシュにリクエストが行われてから、指定された時間が経過するまでキャッシュを保持します。デフォルトは3600秒(1時間)です。指定項目は以下の通りです。

```
proxy_cache_path /var/elixir/cache/example.jp ..(省略)..  
inactive=3600;
```

補足：変換元コンテンツのキャッシュ時間指定の場合、(1)と(2)の優先順位はありません、先に指定された値が優先されます。(3)は(1)、(2)の指定がなかった場合に有効になります。

7 未対応端末の動作

リクエストがあった際に HTTP ヘッダの User-Agent で端末の種別を判別し、端末プロファイルをもとに処理内容を決定します。未対応端末での動作は以下の通りです。

7.1 対応している端末

端末プロファイルに登録された端末は変換対象となり、端末種別、機種、キャリア(携帯電話の場合) に応じてコンテンツを変換して送じます。対応端末一覧については “{付録 B. 参考資料} 対応端末一覧” を参照して下さい。

7.2 対応していない端末

3G 以前の旧携帯電話端末等、対応していない端末に対しても変換は行っていますが、動作保証はしておりません。また動作検証も行っておりません。

7.3 未知の端末 (登録されていない端末)

HTTP ヘッダの User-Agent から端末種別やキャリアが判断できる場合は、それらに応じたデフォルト端末 (比較的新しい機種を参考にしたモデル端末) として変換を行います。

7.4 携帯電話向け検索エンジンのクローラ

端末プロファイルに登録されている携帯電話向けの検索エンジンは、携帯端末として処理します。現在登録されているクローラの情報は、 “{付録 B. 参考資料} 対応端末一覧” をご参照下さい。

7.5 PC (その他の端末)

HTTP ヘッダの User-Agent が端末プロファイルに定義されていない端末からのアクセスの場合 PC と判断し、無変換で変換元コンテンツを送じます。

* 但し、以下の設定を追加変更する事で、PC (その他の端末) で各変換部分の動作をさせる事が可能です。詳細な設定方法については、{ユーザーズ・マニュアル 設定&運用編} を参照下さい。

絵文字をエリクサー内部の代替画像へのリンクに変換

```
elx_emoji_filter_exclude_carrier '';
```

変換元コンテンツの HTML コンテンツの非妥当性を修正して変換

```
elx_tidy_exclude_carrier '';
```

変換元コンテンツの文字コードを変換

```
elx_codeconv_exclude_carrier '';
```

画像を URI パラメータで指定された幅/サイズに変換

```
elx_image_filter_exclude_carrier '';
```

変換後のコンテンツをメモリキャッシュにキャッシュする

```
elx_memcached_exclude_carrier '';
```

8 PC ブラウザでの動作確認方法

実機の端末ではなく、PC ブラウザを使って変換動作確認を行う方法は以下の通りです。通常、最終的な動作確認はあくまでも実機の端末で行いますので、以下参考情報としてご活用下さい。

8.1 確認ツール

Firefox の User-Agent 指定機能等、User-Agent を偽りリクエストを行うことで動作を確認することができます。

* UID や端末固有番号や HTTP ヘッダ等に関する動作は確認できませんが、端末スペック通知でエリクサーからバックエンドの Web サーバに送出するエリクサー独自の HTTP ヘッダの確認はできます。

8.2 変換後コンテンツの確認

下記項目でコンテンツの変換の確認ができます。

(1) DOCTYPE 宣言を確認する。

端末の(大枠の)種類によって以下のように DOCTYPE 宣言が変換されます。

端末種類	DOCTYPE 宣言
docomo	i-XHTML
au	OPENWAVE
Softbank	J-PHONE
Smartphone	XHTML1.0 Transitional
PC	無変換

(2) 絵文字変換の確認。

端末の種類によって以下のように絵文字が変換されます。

端末種類	絵文字表現
docomo	Unicode の 16 進数実体参照 (docomo 用)
au	
Softbank	Unicode の 16 進数実体参照 (Softbank 用)
Smartphone	代替絵文字画像
PC	無変換

(3) 画像変換の確認。

端末の種類によって以下のように画像が変換されます。

端末種類	画像変換
docomo	端末のブラウザサイズ及び、URI パラメータで指定された値での変換。
au	docomo と同様
Softbank	docomo と同様
Smartphone	docomo と同様
PC	無変換

(4) 端末スペック通知の確認。

HTTP リクエストヘッダを表示させるスクリプトなどを記述することで確認できます。

端末種類	画像変換
docomo	X-ELX (デフォルト) から始まる HTTP ヘッダとその値が確認できる。
au	docomo と同様
Softbank	docomo と同様
Smartphone	X-ELX (デフォルト) から始まる HTTP ヘッダとその値が確認できる。但し、項目数が少ない場合があります。
PC	Smartphone と同様

9 その他コンテンツの作成時の注意事項

9.1 POST データの文字コード

初期状態ではエリクサーは POST データを透過します。そのため、下記の (1) か (2) の方法で POST データの文字コードを変換する必要があります。

(1) バックエンドで対応する方法

POST されたデータの文字コード変換をバックエンドで行ってください。POST 元のページの送出コンテンツの文字コードは、端末スペック通知項目の“X-ELX-DEVICE-OUTPUT-ENCODING”の値を参考にして下さい。

(2) エリクサーの設定で対応する方法

POST データの Content-Type が“application/x-www-form-urlencoded”の場合にかぎり、POST データを設定項目“elx_post_codeconv_charset”で指定した文字コードに変換します。バックエンドで使用されている文字コードを指定してください。ただし、POST データの Content-Type が“multipart/form-data”の場合は、POST データを透過しますのでご注意ください。

設定項目“elx_post_codeconv_charset”の詳細につきましては“{付録 B. 参考資料}エリクサー設定項目一覧”をご参照下さい。

※エリクサーは GET データも透過しますが、GET データを変換する機能はございません。この場合、method を POST に変更するか、バックエンドで端末スペック通知項目の“X-ELX-DEVICE-OUTPUT-ENCODING”の値を参考に対応してください。

9.2 CSS パースエラー時の対応

CSS level 2.1 に対応していない記述(いわゆる CSS ハック等)をした場合、CSS のパース(構文解析)エラーが発生します。その対応方法を示します。

- ・エラーの確認方法

error.log 内にエラー内容が記録されます。

```
2011/07/14 15:40:37 [error] .. (省略)..
```

```
5:9:while parsing declaration: this char must be ':'... (省略)
```

内部参照 CSS を記述されていた場合は、コンテンツ内にも下記のようにエラーメッセージを出力します。

```
/*  
++ CSS PARSING ERROR ++  
5:9:while parsing declaration: this char must be ':'  
*/
```

- ・エラーの対処方法

エラーメッセージの最初の数字がエラーが発生した行番号(元コンテンツ内)を示します。よって、上記メッセージの例で言うと、CSS の 5 行目にパースエラーの原因が存在すると思われます。実際の修正すべきエラー箇所については、どのようなエラーかに依りますので、エラー原因箇所発見の手掛かりとして下さい。

付録 A. 独自の用語

エリクサー

{1. 変換対象コンテンツの仕様} 参照

HTML コンテンツ

{1. 変換対象コンテンツの仕様} 参照

端末プロファイル

{2. 画像変換パラメータ} 参照

URI パラメータ、パラメータ

{2. 画像変換パラメータ} 参照

テーブル系タグ

{2-1 出力自動調整方法} 参照

バーチャルホスト設定

{2-8 パラメータの名前指定} 参照

変換元コンテンツ

{6. 端末スペック通知} 参照

バックエンド

{6. 端末スペック通知} 参照

付録 B. 参考資料

HTML Tidy

<http://tidy.sourceforge.net/>

XML

<http://www.w3.org/TR/xml/>

XSLT

<http://www.w3.org/TR/xslt>

XPath

<http://www.w3.org/TR/xpath/>

XPath “3 Expressions”

<http://www.w3.org/TR/xpath/#section-Expressions>

EBNF

Extended Backus-Naur Form

ISO-14977 等も参考にしてください。

HTTP/1.1

RFC 2616

NTT ドコモ 「作ろう i モードコンテンツ」

- i モード対応 XHTML
- i モード対応 HTML
- 絵文字
- i-CSS

Nginx (エリクサーがベースとしている HTTP サーバ)

<http://nginx.org/>

Nginx の設定情報

<http://wiki.nginx.org/Main>

エリクサーに関する Nginx の設定方法

{ユーザーズ・マニュアル 設定&運用編}

Firefox

<http://mozilla.jp/firefox/>

* これら URL 参照先のページは変更、削除される場合があります。参照先が見つからない場合は、弊社エリクサー・カスタマサポートまでお問い合わせ下さい。

弊社エリクサー製品技術資料

- ・ 対応端末一覧
- ・ マークアップ言語変換ルール
- ・ 絵文字変換ルール
- ・ 端末スペック通知項目一覧
- ・ エリクサー設定項目一覧

<http://elixir.neu.co.jp/support/information/>

エリクサーのマニュアル

- ・ ユーザーズ・マニュアル 導入編
- ・ ユーザーズ・マニュアル 設定&運用編
- ・ ユーザーズ・マニュアル コンテンツ作成編 (当マニュアル)

弊社エリクサー・カスタマサポートへのお問い合わせ

電話からは

082-543-2800 (直通)

メールからは

elixir@neu.co.jp

免責事項

当マニュアルに記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。